

会議名	令和6年度（2024年度）第2回 宝塚市子ども審議会		
日時	令和6年（2024年）8月1日（木） 午後 1時30分 ~ 午後 2時45分	場所	宝塚市立中央公民館 203・204学習室
出席者	委員	伊藤篤、中谷奈津子、治部陽介、大西登司恵、西澤千夏、椎山美恵子、石井宏尚、藤由貴、林田桜子、田中誠、山本發生、山田慎治、藤井真人、池田尚子、ベルテッリかおる、藤田かおり（敬称略） 計16名（欠席5名）	
	事務局	子ども未来部長、総括担当及び子ども家庭担当次長、子ども政策課長、同係長、同係員	
	拡大事務局	子ども育成担当次長、子育て応援課長、子ども家庭支援センター所長、子ども発達支援センター所長、保育企画課長、同副課長、保育事業課長、アフタースクール課長、子ども総合相談課長、家庭児童相談課長、健康推進課長、障害福祉課長、基幹相談支援センター担当課長、せいかつ支援課長、幼児教育センター所長 計15名（欠席4名）	
会議の公開・非公開	公開	傍聴者	なし
内 容（概要）			
<p>1 開会</p> <p>会議の成立及び公開について 事務局： 委員21名のうち16名出席 宝塚市子ども審議会条例第6条第2項により、委員の過半数以上の出席があったため会議は成立している。 当審議会については公開を原則としている。本日は、傍聴者はなし。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 子育て支援に関するアンケート調査報告書及び宝塚市次世代育成支援行動計画の成果指標の結果について ○事務局から、資料1～3に基づき子育て支援に関するアンケート調査報告書及び宝塚市次世代育成支援行動計画の成果指標の結果について説明。 委員： 資料3、成果指標の「子育てに負担を感じたことがある」と答えた人の割合が前回より増加しているが、どう考察しているか。子育て施策に予算を割いた明石市が同様のアンケートをした場合、どの程度のポイントになると思われるか。 事務局： 細かい分析はできていないが、明石市は、経済的支援により、子育ての負担感の軽減につながっているのではないかと思う。本市においても、経済的支援のほか、障害等の配慮が必要な方への支援や親子の交流の場、子どもや若者の居場所等も今後検討していく必要があると考えている。 委員： 経済的支援以外に、人権や子育てしやすい地域の雰囲気等も住みやすさの要因になる。人権については、大人の言うことが正しいからそれに従おうという雰囲気があると住みにくくなるので、自己選択、自己決定や意見表明権があることを伝えた上で、それを保証するまちにしていかなければならないと思う。 事務局： ご指摘のとおり、子どもや若者の市政への意見反映も求められていると感じている。様々な視点で子育てがしやすいまちの雰囲気を醸成していきたい。 委員： 資料2の子育てと仕事の両立に保育士の確保が必要とあるが、宝塚市は丁寧な保育を掲げて、国の基準以上に、保育士を配置し、他市からも宝塚市で子育てしたいと言われている。しかし、今年から就職支援金等にも取り組まれているが、保育士確保に充分つながっていると言える状況ではないので、他の対策も必要ではないか。公私立園の数園が近くの中学校・高校との交流会を実施しているが、それを機に生徒に保育士の仕事に就きたいと思ってもらえるとよいと考えている。そのような教育をカリキュラムに入れる等、人材育成につながる仕組みづくりを市全体で考えていただけると、今後、保育だけでなく介護の面でも展開できるかもしれない。</p>			

もう一つ、子どもが公園で遊ぶ声がうるさいという苦情が出ると聞くと、もともと公園は子どもの遊び場であり、少数意見のために子どもの活動が制限されるのはどうかと思う。周囲への啓発活動はどうなっているのか。「宝塚で保育園に入れたい」という声も聞くので、さらに良い環境をつくるために市に啓発活動を求めたい。

事務局： 保育士確保については、4月から就職支援金を導入したところであり、それをもとに募集をするのはこれからなので、今後の対策については状況を見ながら検討していきたい。

委員： 保育士確保の1つの方策として、保育士募集のチラシを貼るのはどうか。また、子どもと中高生の交流体験が保育士という職業の選択につながるのではないかという話があったが、どのような交流活動をしているのか。

委員： 例えば、中高生の授業の1コマでまず保育園がどのようなところかや5歳児との関わり方等を伝え、次の1コマで実際に中高生が提案したボール遊び等を行ったりした。クラスに入って世話をさせていただいたり、運動会の設営を手伝っていただいた年もある。

委員： 小中高の家庭科で子どもたちとの触れ合い体験がある。触れ合い体験の相手の園とのマッチングが難しいという報告が学会でも出ていたが、市のバックアップでやりやすくなったという報告もあるので、そういうことができるとよいと思う。

委員長： 県でも触れ合いをしたい幼稚園と高校をマッチングする仕組みはあるが、保育園までは広がっていない。ただ、県のひょうご子ども・子育て未来プラン改定作業でも同じ意見が出ているので、県全体で同様の要望が出て、うまくいけば仕組みになるかもしれない。

事務局： 教育委員会も就学前施設と小中学校の連携を大事にしており、トライやる・ウィーク等、園児、児童、生徒の交流の機会はさまざまなので、現行の連携教育の推進を更に進めていけるようにしていきたい。

委員： 先日、フレミラ宝塚で中高生と0歳～2歳の子どもとの交流会が開催されたが、中高生に参加の理由を聞くと、トライやる・ウィークで保育園に行ったことがきっかけで参加したという生徒が一定数いたので、そのような機会があれば次のステップに進みやすいのではないかと。また、児童館でも「赤ちゃん学校へ行こう」という企画を実施しており、保護者と幼児が普段は入れない中学校・高校に入れるので、保護者に喜ばれている。そのような機会が増えればよいのではないかと。

委員： 資料2で、子育てに関する情報が豊富かどうかについて、そう思わないと答えた保護者が比較的多いが、様々な子育て支援をする中で、発信力がなかったり、情報を探している人が見つけにくかったりする状況があると思う。それがうまく結びつくように、市で「どこにいけば情報が入るか」「必要な層に必要な情報を届けられるか」が伝わるような情報発信の仕組みができれば、子育て支援活動が広がって、より活性化するのではないかと。

事務局： 市ホームページについては、どこにどのような情報があるのか分かりにくいという意見をいただいている。広報やホームページ等、多様な媒体でも見やすい工夫が必要と感じている。子ども政策課で新たにSNSでの情報発信を行う予定であるが、若い子育て世帯や見守る保護者にも届くようしたいと考えている。

委員： 少しずつでよいので、民間のそういう技術を入れつつ一緒に進んでいけたら、ムーブメントが起こるのではないかと。

会長： 確認したいが、資料2の児童虐待新規通告件数は、厚労省が出している全国の相談対応件数とは違うのか。

事務局： 相談対応件数とは異なる。新しく入った虐待の通告件数で、複数の窓口から入ったものを集約している。

委員： 同じ項目に「虐待等により困難を抱えている子ども・家庭への支援の必要性」とあるが、困難を抱えているから虐待につながると思うので、記述を検討していただきたい。

事務局： 検討する。

(2) 次世代育成支援行動計画個別事業取組状況の実績について

(3) 子ども・子育て支援事業計画の実績について

(4) 子どもの貧困対策計画の実績について

○事務局から、資料4～8に基づき説明。

委員： 資料4P. 17、No. 1358「医療的ケア児保育支援事業」について、看護師を配置したと明記されているが、同じ事業名で1つ下のNo. 1359の受入の体制整備では、今後どのようなことを考えているか。

事務局： No. 1359は私立保育所に対する助成である。対象児童がいた場合、看護師や保育士配置に係る費用、また研修の費用等を助成する。

委員： ハード面の整備ではなく、人件費や人材育成に係る費用に関しての助成か。

事務局： あくまでこの補助金は、人件費等の人的要因に対するものである。

委員： No. 1359「医療的ケア児保育支援事業」について、私立保育園に対する補助は、人的補助にも対応するという解釈で間違いはないか。どの程度の費用が補助されるのか。

事務局： 看護師の配置と保育士の配置という人的な部分になる。

医療的ケアを受け入れる体制として看護師や保育士を配置し、それに対して国から補助金が出るようになっており、看護師の場合は二百数十万円程度の国の補助がある。ただ、一部法人負担はある。

委員： これはお願いになるが、通常の保育で看護師の配置を数園が連携して確保できるような仕組みづくりを市でやっていただきたい。その仕組みがあると、看護師の配置のコストも下がるし、どの園も安心して簡単な医療的ケアができる。新たな事業として一度考えていただきたい。私立保育園としても、市が力を貸していただけるとやりやすいと思う。

会長： 対象は、病後児的な部分も含めてもう少し広いのか。

委員： 重度の医療的ケアではなく、日々のケアレベルである。

事務局： 現状、公立保育所では医療的ケア児に対応する看護師以外は配置していない。保育企画課の管轄に保健師を2名配置し、相談に応じたり、訪問したりする形で対応している。公立保育所の看護師が行く対応は難しい。

3 その他

○事務局より、子ども議会（8月27日開催）と次回全体会について案内。委員より宝塚NPOセンターの事業報告と就労支援事業の紹介。

閉会